



執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

「坂本氏には厳しい結果となった。122票、坂本氏が640票だった。結果をどう見るか。」「坂本氏には厳しい結果となった。122票、坂本氏が640票だった。結果をどう見るか。」

「吉本氏の勝因は。」「処分場計画の完全阻止を目的に処分場が建設されないための条例制定などを公約として掲げたほか、今の村政は閉鎖的と村政刷新を訴えた。坂本氏は確かな実績を残したが、

「2020年の奥多摩町長選、21年の日の出町長選で推薦候補が勝てなかった。昨年のある野市長選では推薦候補が議席を奪還したが、自民党にとつて敗れた相手が革

新、あるいは市民派の首長というわけではない。同じ保守と言つていいだろう。西多摩の首長の連携に支障をきたすものではない。」「影響はないということか。」「「じわりとした影響はある。今の自民党政

「市議として力を蓄えてきた大勢待氏が現職に挑む決断をした。この決断こそが大勢待氏の成長の証だろう。周辺にはもう一期見送るべきとの声も多々あ

「若者の雇用促進にもつながるといふ圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備を進展させ、モーターボート競走事業(ボートレース多摩川)の売上を伸ばした。収益による一般会計への繰入金

「本人は白紙としている。周囲からは市長選に出てほしいという声が強くなる。ただ、立候補すれば自民党を利することになると分か

2023 統一地方選を考える② 吉本新村長 思い切った政策に期待

保保の現新一騎打ち 実りある政策論争を

村出身同士の争いとしては20年ぶりとなった榎原村長選は、新人で元村総務課長の吉本昂二氏(70)が、6選を目指した自民推薦の現職坂本義次氏(78)との接戦を制して初当選した。

「榎原村長選では長く北部と南部で争われるケースが多く、村を二分する激しい選挙から南北戦争と言われてきた。20年前の選挙も北部の坂本氏と南部の高橋亨氏が激しい選挙戦を展開。170票差で坂本氏が初当選を果たした。少なからず残っている」

「より開かれた村政の実現だ。坂本氏は自民などの推薦を受け組織選挙を展開した。組織選挙にはしがらみが生まれる。しがらみがない分、思い切った政策を進められる。今回の統一地方選では25区内でも議員の成り手不足を感じた。瑞穂町は事実上の無投票選挙だった。榎原村も定数8人に10人が立候補したが、内容は低調だ。人口が2000人を切る村に村議会が必要かを考える時期にきている。直接民主制のモデル自治体を目指してもいいだろう」

「首長選で自民党がまた推薦候補を落とした。影響はどうか。」「2020年の奥多摩町長選、21年の日の出町長選で推薦候補が勝てなかった。昨年のある野市長選では推薦候補が議席を奪還したが、自民党にとつて敗れた相手が革

「大勢待氏は改革保守を掲げる。2017年の都議選で、都民ファーストの会代表の森村隆行氏が当選して以来、政策的に近い関係にある。現市政の政策のスピード感やチャレンジ感、計画性、先見性などに疑問を持つている。すぐにも市政の課題に取り組み、新たな政策を進めたいの

「大勢待氏は改革保守を掲げる。2017年の都議選で、都民ファーストの会が2議席を確保し、維新も初議席を得た。改革保守への支持の広がりは追風だろう。岩盤の大勢待氏支持者は多くが自民党。自民党支持者の獲得にも選挙戦が近づくとつれ拍車がかかるだろう」

「大勢待氏は政策重視で、青梅の未来を選択する選挙として関心を高めていきたいだろう。市議選の結果からは浜中氏にとつては自民系が11議席を確保したことは明るい材料だ。大勢待氏は都民ファーストの会が2議席を確保し、維新も初議席を得た。改革保守への支持の広がりは追風だろう。岩盤の大勢待氏支持者は多くが自民党。自民党支持者の獲得にも選挙戦が近づくとつれ拍車がかかるだろう」

中浜氏の市政の継続 大勢待氏 改革訴え



大勢待氏 氏は浜中氏の2度の選挙でいずれも支援してきた。それ



中浜氏 氏。周囲もそれならばと腹を決めた」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

「大勢待氏」

戸建住宅にお住まいの方 超高速インターネット光回線

ケーブルテレビは「テレビ」だけじゃない!

tnet光2.5G

最大通信速度 下り約2.5 Gbps / 上り約1.25 Gbps

TCN 多摩ケーブルネットワーク 0428-32-1351

不動産全般

(公社)全日本不動産協会 (公社)不動産保証協会

東京都知事免許(2)第95965号

有限会社 幸邦

代表取締役 田村 実

羽村市羽西 1-6-27

Tel042-555-7901 Fax042-555-7902